

第4回ウェビナーQ&A

事前に寄せられた質問・ウェビナー当日に寄せられた質問で、ウェビナー中にお答えできなかったものを掲載しています。

Q. アメリカでは TOLAC は比較的行われているか教えてください。

A. TOLAC とは trial of labor after c-section の略で、帝王切開後に経膈分娩を試みることを指します。似たようなことばに VBAC というのがあり、こちらは vaginal birth after Cesarean の略、つまり TOLAC をしても帝王切開が必要になる時もあるし、無事に経膈分娩ができれば VBAC です。TOLAC は帝王切開歴のない方に比べて子宮破裂 uterine rupture の可能性が若干上がるため(0.3-0.5%)、緊急帝王切開に対応できる病院でのみ(例えば産科医、産科麻酔科医、小児科医が常駐しているなど)で TOLAC をすることが適切とされています。

Q. 妊娠と出産を日本またはフロリダ州である場合のいい面と悪い面を教えてください。

A. 日本とフロリダを比べて、を「日本とアメリカである場合の差を比べて」に言い換えた質問としてお答えします。これは、個々の状況にもよると思いますが、日本人カップルにとって一番大きいのは子どもがアメリカ国籍をとれることではないでしょうか？アメリカ国籍があると、将来の子供がアメリカの大学に行くときなど有利になることもあります。

Q. 日本だと助産師さんによる母乳マッサージがあり母乳を出やすくしてくれるが、アメリカではどんな方法で母乳を出やすくする工夫がありますか？身体を温める以外であれば教えてください。

A. アメリカには lactation consultant という資格があります。赤ちゃんの乳首への吸い付き方をみたり、乳管が詰まったときの開通のさせ方などをアドバイスしてくれます。病院に lactation consultant はいますが、個人でも開業してる方がいて出産後はもちろん、中には出産前から指導してくれる方もいます。日本のように安い値段で母乳マッサージをしながら不安や愚痴を聞いてくれることは期待しない方がいいかもしれません。

Q. 日本では 39 週以前に計画分娩を行うことがありますが、アメリカでの計画分娩が 39 週以降になる理由を教えてください。

A. 日本はだいたい 38 週以降に計画分娩を行うようです。アメリカで医学的に理由がない

場合には39週以降に計画分娩を行うことがアメリカ産婦人科学会で推奨されています。それは37-38週6日の出生は新生児へのリスクが上がる（生後1年以内に小児科にかかる回数が増えるなど）ためです。

Q. 子どもが一人いるのですが、病院での立会は可能なのでしょうか？

A. 自宅出産など特殊な例を除いて18歳以下がL&Dに入れることはないと思いますが、病院に確認するのが確実です。

Q. 第一子を日本で帝王切開で出産しましたが、今回第二子を経膈分娩でも出産可能と言われました。アメリカでは帝王切開で後の経膈分娩は一般的なのでしょうか？

A. 前述参照してください。

Q. 妊娠週数の数え方、予定日の決め方は日本と同じですか？

A. 妊娠週数の数え方、予定日の決め方は日本とアメリカで同じです。途中で転居した場合に時差を加味して予定日を変更することはありません。

Q. 米国で出産後日本に帰国する場合、どれくらい出産後から時間を空けるのが適切ですか？内臓が元に戻るのに6W程度かかるという話がありました。。

A. 米国で出産後、日本に帰るためには、お母さんと赤ちゃんの体調と、出生届けがきてパスポートを申請するなどの手続きが整わないといけません。だいたい2か月あれば、両方とも焦らずに整うことが多いようです。中には2週間で帰国された方もいらっしゃいます。